

令和8年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：061.東アジア文学・言語論

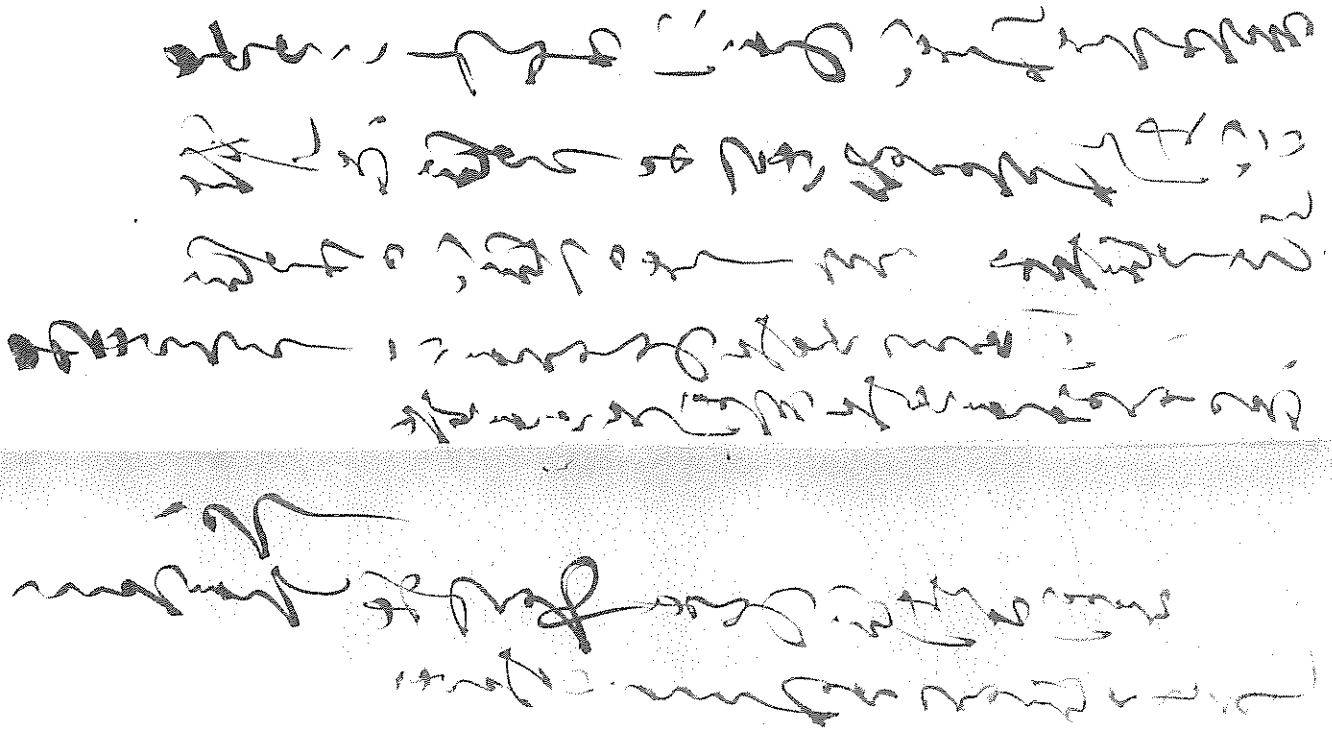
(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

以下のⅠ～Ⅷの設問について、日本語学・日本古典文学・日本近代文学はⅠ～Ⅴ、中国語学・中国古典文学・中国語圏近現代文学はⅥ～Ⅷを選択し、指示に従い解答しなさい。

日本語学・日本古典文学・日本近代文学

日本語学・日本古典文学（上代）を専攻する者はⅠ・Ⅱ・Ⅲを解答しなさい。日本古典文学（中古・中世・近世）を専攻する者はⅠ・Ⅱ・Ⅳを解答しなさい。日本近代文学を専攻する者はⅡ・Ⅴを解答しなさい。ただし、いずれの解答も設問番号（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ……）ごとに別の解答用紙を用い、縦書きの日本語により解答しなさい。

Ⅰ 次の文の全文を、必要に応じて句読点、濁点等を補って翻字した上で、解釈しなさい。



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a transcription of a passage for the exam question. The text is written in cursive and appears to be a transcription of a passage from a classical or modern Japanese text.

令和8年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：061.東アジア文学・言語論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

Ⅱ 次の諸事項の中から三つを選んで解説しなさい。

- (1) 四つ仮名の混同 (2) 仙覚 (3) 栄花物語 (4) 細川幽斎 (5) 与謝野晶子 (6) 児童文学

Ⅲ 次の設問に全問答えなさい。

問一 次の和歌は『万葉集』巻第十一の人麻呂歌集歌である。この歌を解釈した上で研究史上の問題点について知るところを述べなさい。

春楊 葛山 發雲 立座 妹念

問二 古代日本における漢字専用時代にあつて、仮名表記の意義について述べなさい。

Ⅳ 次の設問に全問答えなさい。

問一 『伊勢物語』の享受史について、知るところを述べなさい。

問二 本意思の形成と展開について、知るところを述べなさい。

専門試験

科目名：061.東アジア文学・言語論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問(ローマ数字のⅠ、Ⅱ……)ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

V 次の文は長谷川天溪「美的生活とは何ぞや」の一節である。これを読んで、以下の設問に全て答えなさい。

高山樗牛君は『太陽』(雜誌)誌上に『美的生活を論ず』と題して、人生の目的は、道徳や知識の「煩瑣にして又餘りに迂遠なる」ものを求めるよりも、美的生活を求めるに在る。畢竟するに道徳と知識とは相対的価値があるのみで、ひとり絶対的価値を味つて居る者は、美的生活である。其美的生活とは、人性本然の要求を満足せしむるものであると説かれた。氏は言はれた、

「……生れたる後の吾人の目的は言までもなく幸福なるにあり、幸福とは何ぞや、吾人の存する所を以て見れば本能の満足即ち是のみ、本能とは何ぞや、人性本然の要求是也」
吾人に最大幸福を與へ得るものは、道徳と理性とはではなくて、實に本能である。其本能の要求を充實して行くのが美的生活と謂ふ可きである。

高山君の謂はれた通りに、輔公の濟川の戦死、菅公の君恩に感謝する所、貞婦が夫の爲に身を殺す所等は、其各の場合に、忠貞等の道徳的理想を意識して、行つたのでは無いかも知れぬ。亦人間の心性から推して考へるも、各の行爲が、一々理性、或は知識、或は理想から割り出されるものではない。否、一の行爲に出づるたび毎に、理想の判断を聞いて居るやうでは、此複雑なる人間社會に立つて行く事が出来まいと思ふ。同じく左側を通行するにしても、一歩毎に警視廳全を觀たならば、寧ろ苦痛を感ずる場合が多いであらう。こゝは本能の作動に出づるので、始めて困難なしに、通行することが出来るのである。

正成、賞公、或は孝子、烈婦の場合でも、其行爲は、殆ど本能的であつたであらう。従つて古名家の一世一代の行爲を、腐儒のお談議で解釋しやうといふは、固より誤つても居る、亦愚の極でもある。然しながら、此點から推して、本能の要求を満了する行爲の連続が、美的生活であつて、知識や、道徳への要求は、相対的である、其物の價値は、薄少であると斷言するのにも、亦談議であると言はざるを得ない。

假りに高山君の所見に従ふとしたならば、随分奇妙なる結論が出るではあるまいか。而も其結論中には、高山君自身も豫期しない程、奇怪なる物が有るではあるまいか。

高山君は人生本然の要求を、本能と名付けられた。去れば其本能とは、甚だ廣い意味で、是を分析したならば、性

質上では、精神的と肉体的との二つで、其廣さの上では、普遍的人性と個人的人性との二つが區別されねばならぬ。而して其個人的人性の中にも、人類學上の所謂道徳的本能性と、習慣的性向とを差別しなればなるまい。そこで本能を満足して行く所が、美的であると謂ふならば、一個人の行爲は、悉く美的であると推理して毫厘の行違ひは無い筈である。(讀賣新聞「明三四」八・一九)

高山君は、疲勞の後の晩酌(但し清風江月に対して)音楽を聴きながら、美人と共に在る場合等を例として、是が本性の要求を満了したる美的生活で、其快樂は、哲學書一卷を讀破した愉快、貧人を救ふ、孤兒を助けた快感よりも、更に莫大なるものであると斷言された。勿論是等の生活には快樂がある。酒に美的である。然しながら他に二三の例を挙げたならば、人間本性の要求を充實する事が、必ずしも美的で無いといふことが證據立てられるではあるまいか。例へば敵を見て逃げ出す人は、生命が惜しいといふ、人間一般の要求に基いて、之を満足せしめた者であるから、其行爲は美的である。色情の奴隷が、異性を追ひ廻すも、亦其個人的性向を満足せしむる者であるから、美的である。高山君は果して此等の例をも美的であると、承認せらるるであらうか。

人間の本性に基いた行動にしても、快樂を伴はぬ者がある。依つて高山君の説を推し廣げて快樂の條件する本能的行爲のみが、美的であると言ふは、強ち不當では有るまい、然しながら快樂の強弱大小を言はれる所を見れば、茲に其標準は、いつに在るかを決めねばならぬ。時間の長い快樂を追求するのが美的であるか、或は度は強くとも、時間の短い快樂を得るが美的であるか。大く短くと世を送るが、美的生活であるか、或は細く長くと計畫するが美的であるか。而して此兩種の快樂を引き起す行爲は、性質に於て、全く異なる所がある。永續する快樂を覓むる場合には、多くは人間の本性に反對する行爲に出でなければならぬ。之に反して強度短時間の快樂は、多く体機性の要求に従ふ行爲に伴ふ。然らば其動機を追求するが美的生活と成るのであらうか。

令和 8 年度 第 1 回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：061.東アジア文学・言語論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

高山樗牛は美的生活の例として、銀理其物の研究を無上の樂とする學者、金銀其物の貯蓄を人生の至樂とする守銭奴、月光を浴びつゝ、薔薇花の蔭の蔭で戀情を語り合う男女の狀態、印度の瑜伽派の修行者等を挙げられた所を見れば、孰れの快樂でも構はぬといふ説らしいが、果して然らば瑜伽派の修行者が、解脱の快樂を得るために、人間本能の要求を「抑」けたものを、何故に美的といふのであらうか。氏の説では、願回が願で勉強して居つたのも、ステファノの末路も、大石良雄の歎難辛苦も、皆非美的生活で、極悪無道の盗賊、若輩を買ひ殺したニダ、腰を抜かした大野九郎兵衛等が生涯は、却て美はしき者であると推論しなければならぬ。従つて、氏の挙げられた正成、章公の生涯は、頗る無味の者で、氏は如何なる前據から、之を美的生活の例として掲げられたかを尋まざるを得ない。

吾輩の考ふる所では、氏は人間行為の景観をのみ觀して、其内容を棄て、直に美的生活を説明しやうと試みられ

たが故に、論旨に矛盾を生じたのであらう。固より人間は美的に生活しなければならぬ。然しながら、美的生活といふは、他人の目に映ずる景観で、豫め其内容となる者が無からねば、決して美相を呈する事が出来ぬ。

知識士或は道徳上の理想が確立して、是に向つて進む生活は、即ち美的として現れる。更に詳しく云へば、理想に向ふ行為が、習慣的となる所が美的として、千歳不滅の光明を放つのである。正成も章公も、共に忠といふ理想を畫いて、是に向ふ行為が殆ど習慣的であつたればこそ、其行為が美的と成つたので、芳名を今日に傳へた。たとひ理想があるにしても、是を迫る行為が、瞬間的であるならば、其壽命は兎も角も、人生一体としては美相を呈せぬ。美相を呈する生活と言ふは、片時も理想を忘るることなく、勉めて之に向ひ、遂に其一舉一動が、習慣的となる場合に在るのである。而して此點が亦科學の所謂本能的活動には、美相がないことを確かめる。

- 問一 傍線部 1、4 の人名について解説しなさい。
- 問二 問題文から読み取れる高山樗牛の主張をまとめなさい。
- 問三 これに対する筆者の主張をまとめなさい。
- 問四 美的生活論が自然主義文学に及ぼした影響を述べなさい。

令和8年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：061.東アジア文学・言語論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

中国語学・中国古典文学・中国語圏近現代文学

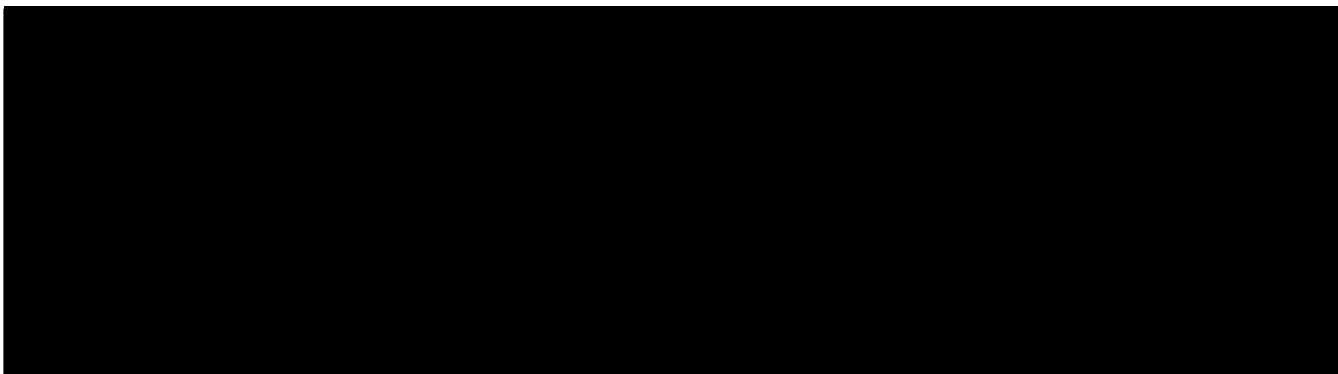
Ⅵ～Ⅷを解答しなさい。ただし、いずれの解答も設問番号（Ⅵ～Ⅷ）ごとに別の解答用紙を用い、日本語により解答しなさい。

Ⅵ. 次の問1・問2を解答せよ。

問1. 次の文章の下線部を日本語に訳せ。

齊宣王出獵於社山，社山父老十三人相與勞王，王曰：「父老苦矣。」謂左右賜父老田不租，父老皆拜，閻丘先生不拜。王曰：「父老以為少耶。」謂左右復賜父老無徭役，父老皆拜，閻丘先生又不拜。王曰：「拜者去，不拜者前。」曰：「寡人今觀父老幸而勞之，故賜父老田不租，父老皆拜，先生獨不拜，寡人自以為少，故賜父老無徭役，父老皆拜，先生又獨不拜，寡人得無有過乎。」閻丘先生對曰：「惟聞大王來遊，所以為勞大王，望得壽於大王，望得富於大王，望得貴於大王。」王曰：「天殺生有時，非寡人所得與也，無以壽先生；倉廩雖實，以備災害，無以富先生；大官無缺，小官卑賤，無以貴先生。」閻丘先生對曰：「此非人臣所敢望也。願大王選良富家子，有修行者以為吏，平其法度，如此臣少可以得壽焉；春秋冬夏，振之以時，無煩擾百姓，如是臣可少得以富焉；願大王出令，令少者敬長，長者敬老，如是臣可少得以貴焉；今大王幸賜臣田不租，然則倉廩將虛也。賜臣無徭役，然則官府無使焉，此固非人臣之所敢望也。」齊王曰：「善。願請先生為相。」

問2. 全文を日本語に訳せ。



令和8年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：061.東アジア文学・言語論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

VII. 次の(A)(B)(C)のうち、中国語学を専攻する者は(A)を、中国古典文学を専攻する者は(B)を、中国語圏近現代文学を専攻する者は(C)を選択し、解答せよ。

(A) 中国語史における構文の変化について、知るところを述べよ。

(B) 次の詩を解釈し、作者や詩題について知るところを述べよ。

晏殊 「無題」

油壁香車不再逢，峽雲無跡任西東。梨花院落溶溶月，柳絮池塘淡淡風。
幾日寂寥傷酒後，一番蕭瑟禁煙中。魚書欲寄何由達，水遠山長處處同。

(C) 巴金の具体的な作品を一つ取り上げ、そのテーマと特徴を分析せよ。

VIII. 次の用語・固有名詞から五項目を選んで、それぞれ知るところを述べよ。各解答の最初に、選択した項目の番号を明記すること。

- | | | | |
|-----------|------------|------------|----------|
| ①大篆 | ②認知文法 | ③アスペクト助詞 | ④小韻 |
| ⑤宋玉 | ⑥『玉台新詠』 | ⑦陳子昂 | ⑧『唐賢三昧集』 |
| ⑨中国左翼作家聯盟 | ⑩『伝奇』(張愛玲) | ⑪『巴黎茶花女遺事』 | ⑫史鉄生 |